

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度の実績評価)

記入年月日 令和2年4月2日

事務事業名: 予算執行指導事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助, 単独. 事務事業No: 060503000062. 所属課: 020201 財政課. 課長名: 財政G. 担当者名: 財政G. 事業期間: 単年度繰返し (平成17年度~). 法令根拠: 桜川市財務規則.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 合理的で無駄のない適正な歳出の執行を行うため、各課と常に協議の場をもち、執行の指導を行う必要がある。②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: ①予算執行等に伴う合議対応, ②予算執行等に伴う協議対応, ③予算執行等に伴う会計課との協議, ④予算流用事務, ⑤予備費充用事務, ⑥繰越予算事務, ⑦予算執行指導.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), 03年度(目標), 04年度(目標). Rows include: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), 03年度(目標), 04年度(目標), 期間限定総投入量. Rows include: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数.

01年度事業費実績 (千円)

Table with 4 columns: 01年度事業費実績 (千円), 02年度事業費 予算 (千円), 合計. Rows include: 11 需用費 (91, 108), 14 使用料及び賃借料 (26, 26), 合計 (117, 134).

| | | | | | |
|--|----------|---------|-------------|-----|-----|
| 事務事業名 | 予算執行指導事業 | 事務事業No. | 60503000062 | 所属課 | 財政課 |
| (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 健全財政の推進 平成17年10月1日に合併した当初は、指導・協議件数も多かったが、現在は件数も減少してきている。 | | | | | |
| (5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 事務事業自体に対しての議会、住民等からの意見要望はなし。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|------|--|
| 現状維持 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 予算執行事務を適正に行うことで、予算の適正執行に結びついている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 予算執行は、市の責任において行われなければならない。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 制度に基づく事業であり、現在があるべき水準である。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 制度に基づく事業であり、変更・休止はできない。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がなく統廃合の余地はない。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の事務費であり、削減できない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である この事業に対する特定の受益者はいない。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 | | (2) 全体総括 (振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----|--|----|----|--|-----|--|--|----|----|----|------|----|---|---|---|
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ⇒ | 思い込みによる誤った歳出や、不適当な歳出を防ぐため、各課と常に協議の場を持つようにしている。新採職員に対しては、研修の場を設けて基本的な事項について解説を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | | (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table> | | 成果 | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 向上維持 | 低下 | ○ | × | × |
| 成果 | | コスト | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | |
| 向上維持 | 低下 | ○ | × | × | | | | | | | | | | | | |
| | | (6) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 成果優先度評価結果 | ⑧ | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|---|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |